



開星(鳥根)の初戦に向け、最終調整する八学光星ナイン。20日午後、大阪府東大阪市・花園中央公園野球場

甲子園だより

目黒海都内野手(3年)

光星

入場行進では、ナインから大きく通る声響き、足並みをそろえる掛け声役を担いだ。元気が押さえて、足並みをそろえる掛け声役を担いだ。元気が押さえて、足並みをそろえる掛け声役を担いだ。

行進掛け声役は70点

準備万端で臨んだが、気が入りすぎて、途中で声がかれてしまった。70点の出来と、苦しいを浮かべた。

二塁コーチャーを務める時は、冷静に状況を読み断し、声掛けを促す。初戦に向けて、声掛けも大声を張り上げる。大阪府・金津中出身。175cm、78kg、右投げ、右打ち。

打撃陣仕上がり万全

光星、きょう開星(鳥根)戦

選抜高校野球大会に出場している八学光星は、21日の初戦(鳥根)との初戦に向け、大阪府東大阪市の花園中央公園野球場で、午後1時から約2時間の最終調整に汗を流した。投手陣は投球練習を行わず、選手全員が前日同様打撃練習に多くの時間を費やし、シートノックを続めた。

打撃では相手投手が直球とスライダーを何割割合で投げる傾向があったため、対策としてスライダーを中心に打ち込んだ。仲井監督の低い打球などの指示が飛ぶ中、ナインはコースに応じて左右に打ち分け、ライナー性の打球を連発。柵越えも

数本出るなど、仕上がりは万全の様子だった。バントの確認も入念に行った。練習後、仲井監督は調子がよ、手応えを感じて、選手たちがしっかりと試合をするか楽しみ」と意気込んだ。

奥村主将は「みんな初めは緊張で硬くなってしまうが、18日の練習試合以降、徐々にリズムが戻ってきた。山田は後から初戦、まずは自分たちが勝つ、青森は自分たちが勝つ」と力強く語った。

光星打線切れ目なし

早川に援護できれば、一気にベースをかわり、一塁コアの展開を持ち込める。開星は右腕めれば勝機が出てくる。

吉川が踏ん張るか。ロースコアの展開を持ち込める。開星は右腕めれば勝機が出てくる。

八学光星の初戦・開星戦は21日午後2時開始予定。(本田海輝)



甲子園応援のためバスに乗り込む生徒

「精いっぱい応援へ」光星生徒ら140人出発

選抜高校野球大会第2日(21日)の第3試合で開星(鳥根)と対戦する海さん(2年)が「精いっぱい応援して第二応援隊にパトントッチします」と意気込みを語った。第一応援隊は2年生と吹奏楽部、チャリディ

ンケ部、教職員らで構成し、バス台で出発。21日午後2時開始予定の試合に合わせて甲子園入りする。(籠花光秀)